

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公表番号】特表2004-532723(P2004-532723A)

【公表日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2004-042

【出願番号】特願2002-583289(P2002-583289)

【国際特許分類】

B 0 5 C 11/10 (2006.01)

B 0 5 C 5/00 (2006.01)

B 0 5 D 1/26 (2006.01)

B 0 5 D 3/00 (2006.01)

【F I】

B 0 5 C 11/10

B 0 5 C 5/00 A

B 0 5 D 1/26 Z

B 0 5 D 3/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月30日(2008.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

湿気硬化性材料の保存および塗布に使用する組合せにおいて、  
容器アSEMBリであって、

長手方向軸線と軸線方向に離間した入口端および出口端と室を画定する内面とを有する  
水蒸気透過性ポリマー材料の管状の壁と、

前記入口端に隣接するとともに、前記内面に対しシール係合しつつ前記壁に沿って前記  
出口端の方へ移動するようになっている、前記壁の中のプランジャと、  
を含む容器アSEMBリと、

前記室の中に配置される湿気硬化性材料であって、

外面を有し、通常の室温では固体であり、60 ~ 110 の範囲の温度に加熱された  
ときには塗布に適した30000センチポアズ未満の粘度に軟化可能であり、湿気硬化し  
たときでも前記ポリマー材料に対してほとんど接着せず、大気中の水蒸気により該外面か  
ら内側に向かって硬化して、該範囲の温度に加熱したときに軟化するが溶融しない、硬化  
した湿気硬化性材料の囊を形成し、該囊が、未硬化の湿気硬化性材料の中央コアの周りに  
延びるようになっている、

湿気硬化性材料と、

前記容器アSEMBリの周囲に配置され、湿気を通さない材料の外被と、  
を具備し、

前記湿気を通さない材料の外被を取外した後に、前記容器アSEMBリの前記壁を通り抜  
ける大気中の水蒸気により、前記湿気硬化性材料が前記外面から内側に向かって硬化して  
、前記硬化した湿気硬化性材料の囊を形成し、前記容器アSEMBリの中の前記囊および前  
記未硬化の湿気硬化性材料を前記範囲の温度に加熱した後に、前記囊を破ることができる  
とともに、前記プランジャを前記壁に沿って該壁の前記出口端の方へ移動させることで、

前記破れた囊をつぶして該プランジャに隣接した該囊の部分を前記容器アセンブリから分離することができ、その間に、加熱された前記未硬化の湿気硬化性材料が前記容器アセンブリから放出されるように構成されること、  
を特徴とする組合せ。

【請求項 2】

前記容器アセンブリを受容するとともに前記湿気硬化性材料が軟化する前記温度よりも高い温度で前記湿気硬化性材料を加熱するように構成された手段をさらに備える、請求項 1 に記載の組合せ。

【請求項 3】

湿気硬化性材料の保存および塗布方法であって、

長手方向軸線と軸線方向に離間した入口端および出口端と室を画定する内面とを有する水蒸気透過性ポリマー材料の管状の壁と、前記入口端に隣接するとともに、前記内面に対しシール係合しつつ前記壁に沿って前記出口端の方へ移動するようになっている、前記壁の中のプランジャとを含む、容器アセンブリを用意するステップと、

通常室温では固体であり、60 ~ 110 の範囲の温度に加熱されたときには塗布に適した30000センチポアズ未満の粘度に軟化可能であり、湿気硬化したときでも前記ポリマー材料に対してほとんど接着しない湿気硬化性材料を、前記室の中に用意するステップと、

湿気を通さない材料の外被を、前記容器アセンブリの周囲に用意するステップと、

前記湿気を通さない材料の外被から前記容器アセンブリを取出して、大気中の水蒸気が前記容器アセンブリの前記壁を通り抜けることができるようにして、前記湿気硬化性材料をその外面から内側に向けて硬化させ、加熱時に軟化するが溶融しない硬化した前記湿気硬化性材料の囊を、前記室の中で未硬化の湿気硬化性材料の中央コアの周りに延びるように形成させるステップと、

前記容器アセンブリの中の前記囊および前記未硬化の湿気硬化性材料を、60 ~ 110 の範囲の温度に加熱するステップと、

前記容器アセンブリの中の前記囊を破るステップと、

前記プランジャを前記壁に沿って該壁の前記出口端の方へ移動させて、前記破れた囊をつぶすとともに、該プランジャに隣接した該囊の部分を前記容器アセンブリから分離し、それにより、加熱された前記未硬化の湿気硬化性材料が前記容器アセンブリから放出されるようにするステップと、

を含む方法。